敬和創

上田市立第六中学校
学校だより　Ｎｏ．２
令和７年5月３０日（金）

本格始動！5月の学びダイジェスト～各学年・生徒会・部活動の取り組み～

２年 キャリア学習開始沓掛工業見学

数学学習支援ボランティア開始

旧担任の先生と懐かしいひととき
～小中連絡会～

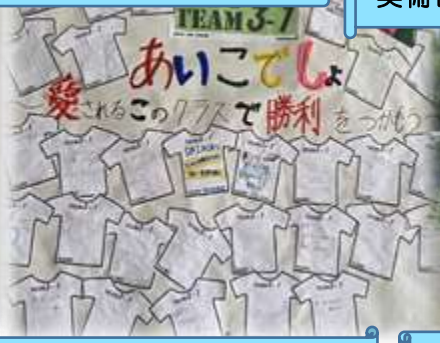
集中！入学して初めての中間テスト

職場体験学習に向けて事業所調査

↑ テスト前教科質問タイム～１点でも多く　↓

１年生入部　部活発足＆最後の夏に向かって Fight！

美術部３年生制作の生徒会スローガンイメージ画



学級の願いを形に～クラス全員と担任で作った学級目標

目指せ自己ベスト更新～中距離走練習（体育）

○5月校長講話～まちがえることは悪くない

１年生も部活動に入部し張り切って活動をしています。2，3年生もあこがれられる先輩の姿を見せてくれています。5月22日は一学期中間テストがありました。6月からはいよいよ中体連の夏季大会も始まります。

今日は、「まちがえることは悪くない」ということについてお話しします。誰でもそうだと思いますが、問題を解くときに、「まちがえたくない、まちがえてはいけない」と思ってやりますね。多くの人は、まちがえることは悪いことと思っていると思いますし、わざと「まちがえてやるぜ」と思って何かをやる人はいないと思います。もちろんわざとそんなことをする必要はありません。しかし、人はまちがえます。そんな完璧に何でもできる人なんていません。

脳科学者の池谷　裕二教授は、2016年と 2018 年に、ネズミを使った学習の実験を行い、研究成果を発表しました。それによると、学習において次の2点が重要であることがわかりました。1つ目の研究成果では、学習の初期段階で多くまちがえた（失敗した）ネズミほどその後の学習スピードが速くなり、最終的に学習を達成するまでの日数が短くて済むことが分かりました。さらに、同じ回数をまちがえた場合でも、多様なまちがいを経験したネズミの方が、最終的な学習成績がよいことも示されました。つまり、10回まちがえるのであれば、10　種類の異なるまちがいを経験する方がよいということです。2つ目の研究成果では、同じまちがいをするのでも、すぐに答えを選んでまちがえてしまうネズミと、選択するまで時間をかけ、熟考しているように見えるネズミとでは、後者の方が最終的な成績がよかったのです。このことから、「まちがってもいいや」と、安易に考えずに選ぶのではなく、よく考えて行動したうえでのまちがいが、より速い学習につながるということがわかりました。いわゆる「早とちり」ではダメなのです。

失敗することはこわくない！ よく考えてまちがえること＝成功のもと！

このことから、「まちがえてしまった」という経験が大事になってくるそうです。まちがえた経験が次に思い出すヒントにつながる、まちがえたことが脳に記憶されると説明されています。私も、大事な試験でまちがえてしまったことは今でもよく覚えていますので、まちがえたことが脳に記憶されるというのはその通りなんだという実感があります。

「まちがえることは悪くない」という話をしていて、思い浮かんだ言葉があるので、紹介します。

「論語」からです。「過ちて改めざる、是れを過ちと謂う」これは、過ち（＝まちがい）を犯してしまって、それをそのままにして改めないことは、本当の過ち（まちがい）だ、という意味です。 大事なことは、「まちがえたあと」の行動です。まちがえることは誰にでもあります。まちがえをしない人などいないのです。そのあと、どうしてまちがえたのか、どうすればうまくいくのかということを真剣に考え、行動することが大事だと思うのです。テストもそうですし、部活動の試合も同じです。まちがってしまったこと、失敗したことや負けてしまったことは決して無駄ではありません。次に成功するためのまちがいや負けなのです。

最後に、物理学者のアインシュタインの言葉を紹介します。「まちがいを犯したことのない人というのは、何も新しいことをしていない人のことだ」

新しいことに挑戦しなければ、まちがうことも失敗することも経験せずにすみます。しかし「まちがえない、失敗しない」ことを第一に過ごしているだけでは、進歩も新しい発見も生み出せないのではないでしょうか。宇宙のしくみや物質間の関係などについて、自分の頭の中で思考実験を繰り返しながら理論を組み立てたというアインシュタインならではの、深遠な言葉です。始業式でも話をした「一歩前へ」「憧れの連鎖」を意識して学校生活を送っていきましょう。

☆連絡とお願い

6月12日【木】13:45より地域公開参観（地域講師による19の出前講座）が行われます。昨年度より2回目の開催です。当日はお子様の講座を見ていただくか、他の講座を回るなどしてお楽しみください。一方、全職員が各講座に付くため、当日校庭で駐車場誘導を担当する職員が不足しています。恐縮ですが、晴天の場合保護者様で13:20から30分程度駐車場誘導をお手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、学校まで電話かお子様を通じてお知らせください。お手伝いいただける方は職員駐車場にお停めいただけます。ご協力お願いいたします。

第六中学校　校長　中野 裕顕　担当：富山 貴子(教頭)　TEL２２－５０１３　ueda6@sk.ueda.ed.jp